

3人だけ出社

多くの机が並んだオフィスに、人影はほとんどない。つくば市のソフトウェア開



テレワークを強化し、がらんとしたオフィス（26日、つくば市の「ペンギンシステム」で）

発会社「ペンギンシステム」はテレワークを導入している。社員30人のうち、出社するのは社長と専務、総務部スタッフの計3人だけだ。

オミクロン株の感染急拡大を受け、18日から出社人数を3人に絞った。仁衡琢磨社長は「感染力が強すぎると、社内でクラスターが起きれば、つらい思いをするのは社員たち。それは絶対に避けたい」と説明する。同社は20年春、感染拡大を機にテレワークを開始。流行状況に応じて、出社人数を調整してきた。チームで新たなシステムを開発しており、オンラインの情報交換だけでは不十分だと判断。第5波の感染拡大が収まってきた昨年10月、「11人まで出社可」と緩めたばかりだった。

仁衡社長は「しばらく非常時の対応が続くが、感染対策を徹底して業務を遂行していきたい」と話す。